

COOP-JOSO News Letter

2019年11月1回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・おうちゴハン」

【第1報】台風19号被害状況。

東北、関東、東海地方において河川の氾濫による 甚大な被害がありました!!

▽10/16利根川の状況(利根川の様子2019/10/15)



この度の台風19号により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

台風19号の大雨で近隣の河川の氾濫などの心配もありましたが、幸いにも常総生協の供給エリア内(茨城県南部、千葉県北部)では大きな被害報はありませんでした。職員の安否も10/13(日)の午前中にすべて確認が取れて、被害はありませんでした。

常総生協のエリア(茨城南部・千葉県北部)には大きな被害はないものの、物流がストップしたことで生協への入荷遅れ等により、商品のお届けに影響が出ました。また、生産者の畑が水没被害、友好生協の「あいコープみやぎ」においては床上浸水によるセットセンター、本部機能の停止等の甚大な被害が出ています。今回は第1報として生産者の状況をお伝えします。

(専務理事 伊藤)

2019年11月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
<p>11月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に外遊び活動しています。試食会は11/28(木)開催です。</p> <p>11/1(金)生協まつり準備 11/2(土)生協まつり 11/5(火)私たちのくらしと憲学習会(常総生協) 脱原発とくらし見直し委員会(常総生協) 11/6(水)定例理事会(常総生協) 11/7(木)パラマウント靴販売会(常総生協) 11/9(土)光風台まつり 11/13(水)商品キャラバン学習会(常総生協)</p>	<p>11/1(金)生協ネットワーク21役員会 11/7(木)東海第二原発訴訟 口頭弁論 11/9、10(土、日)甲状腺検診(矢板) 11/16(土)STOP!!東海第二原発の再稼働いばらき大集会 11/21(木)千葉県連創立70周年記念式典 コープ共済地域ささえあい助成交流会 日生協インターネット仲間づくり実践交流会</p>

生産者被害状況※状況確認出来ているところで、被害があった生産者のみを掲載しています。

※下記の情報は10/17(木)時点のものです。

生産者	産地	商品	被害状況
浅野農園	茨城県（常総市）	ほうれん草	葉物野菜に被害。
土れ味農園	茨城県（石岡市）	野菜セット	ハウスが一部破損。葉物野菜に被害。
微生物農法の会	茨城県（石岡市）	小松菜、きゅうり、野菜セット	きゅうりハウスが一部破損。
宇治田農場	茨城県（石岡市）	野菜セット	ハウスが一部破損。葉物野菜に被害。
木村農園	茨城県（つくば市）	オクラ、なす、他	ハウスは大丈夫。露地の葉物、ナスが被害。
おきたま興農舎	山形県（高畠町）	野菜・果樹	河川沿いの低地の田畑の冠水があり、野菜の被害あり。風による果樹の被害状況は、追って確認する。
清水農園	茨城県（坂東市）	野菜セット	覚悟をしていたほどの被害は、有りませんでした。停電が無かっただけでも、運が良いと思います。洪水被害、家屋破壊の情報に愕然とします。原発を直撃する進路でハラハラしていました。
千倉水産加工販売株式会社	千葉県（船橋市）	水産加工品	協力工場において、屋根が飛びブルーシートにて応急処置しております
三里塚ワンパック野菜	千葉県（成田市）	野菜セット	台風9号で被災し応急処置していた鶏舎のブルーシートが引きはがされました。その他、作物の被害状況は調査中です。
鳴門魚類株式会社	徳島県（鳴門市）	水産加工品	原料の物流が予定より2日程遅れていますが、想定内の状況です。
水府納豆	茨城県（常陸太田市）	納豆	周辺の道路で一部冠水して通行止めはありますが、特段被害は無し。
(株)中田商店	東京都（練馬区）	加工品	商品在庫を保管している倉庫の一部が浸水しましたが、大きな被害は特にありません。

清水農園台風19号の被害（速報）



台風19号の影響で地場野菜の生産者のところでも各地被害に遭われています。

特に坂東市にある「清水農園」さんのところは、畑やハウスが冠水し、台風経過後4日経っても畑に入れません。（写真左：ハウスが冠水し、未だ水が引きません。写真右：圃場に入ろうとすると、水分

が多く長靴が沈んでしまいます）。本来であれば11月から秋冬野菜が最盛期を迎えるところですが、葉物野菜が育たず、根菜類もどこまで出せるかまだ分からない状況です。

※上記写真は10/15(火)15:00に撮影したものです。

※産地の情報は、来週のNewsLetterにて改めて報告いたします。

CO・OP 共済にご加入の組合員の皆様へ

被害を受けられた組合員の皆様にお見舞い申し上げますとともに、1日も早く復旧されますよう祈念いたします。

おケガをされ、ご入院、ご通院をされた場合は、共済金のお支払いがごございます。また、住宅や家財に被害があった場合、被害の程度により共済金等がごございます。詳細につきましては、以下のコープ共済センター（フリーダイヤル）までご連絡ください。



■コープ共済センター

0120-08-9431

受付時間：9：00～18：00 月～土（祝日含む）

注）・ご加入のCO・OP共済の商品によっては保障がない場合もあります。

- ・混み合っつながりにくい時がありますのでご了承ください。
- ・おかけ間違いのないようにお気を付けください。

JFSA古着回収 ご協力ありがとうございました。

9月23日～10月4日までの2週間で集まった古着類の総量は2000kgです。

みなさんから提供をされた古着類は、日本ファイバーリサイクル連帯協議会（JFSA）を通じてパキスタンに送られるなどし、販売をされて現地の子供たちの学校運営の費用に充てられます。

まずは、みなさんから集まった古着を種類別に選別しなくてはなりません。全て手作業でボランティアで行います。

本来ならみなさんに呼びかけて、仕分け作業のお手伝いを募るところではありましたが、今回は役職員を中心に、10月16日(水)に行いました。



短い時間ではありましたが、4名が参加し、上着、毛布、ズボン、タオルなどの種類別に分別を行いました。

〇JFSAの東葛センターへ仕分け作業体験会に参加してきました。（報告者：常務理事 木内）

JFSA東葛センター「Kapre」（カプレ）は、柏市大室の倉庫にお店を構えており、お店の名前の「Kapre」（カプレ）は、パキスタンの言葉のカプラ（布）の複数形という言葉で「服」を意味しているそうです。

今回作業参加者は役員4名となりました。皆さんから回収させて頂いたモノを1次選別として種類別に分けていく作業をしました。長机の上に洋服を一枚一枚広げ、婦人・紳士・子供・シャツ・下着・タオル・カバンなどそれぞれのカゴ車に分けていきます。作業がスタートした時は、JFSAスタッフの小島さんに「これは子供服～？」「紳士用のスーツはどこ～？」と質問攻め。慣れてくると「これは婦人モノ」、「これはカバンだからこっち」とブツブツと独り言を言いながら、黙々と仕分け作業を進めていきました。

今回初めてのことで、回収対象でないものや汚れているものなどが多く混じっているのではないかと心配していました。組合員の皆さんがお知らせをよく読んでから提供して下さったおかげで、心配していたほどではありませんでした。4人で2時間、約512kgの仕分け作業を行い、小島さんに参加した4名の仕分けぶりを伺うと少し間を置き、「よくやってくれました。」とお褒めの言葉頂きました。

小島さんに今後の回収についてアドバイスを聞くと、各家庭で衣類を梱包する際に使用するビニールや紙袋は大量のゴミになるので、出来れば風呂敷や使い古したシーツでくるんでくれると助かるそうです。風呂敷やシーツは、パキスタンに送るときに古着を包むのにも使えるそうです。

また、パキスタンの子供たち、パキスタンの人々、古着を提供してくれた組合員さん、私たちが繋がり合いながら、どこかで無理や負担が掛からないように、そしてみんなが幸せになる活動にしていきたいとおっしゃっていました。



生協まつり（11月2日 於：生協本部）にもJFSA出店してくださいませ。

JFSAとして古着の販売、パキスタンの縫製工房で作った服やパキスタンの小物の販売と合わせて、古着の回収も行います。

回収できる古着の種類は、前回の回収基準と同じになりますので、ぜひ、古着をもって生協まつりに遊びに来てください。

（QRコード（ネット）で回収している古着の基準をご覧くださいませ。）

回収する古着の基準



理事会よもやま通信

発行 常総生活協同組合理事会
TEL0297-48-4911
FAX0297-45-6675

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

レア企画！ クジラ博士の授業開催

10月2日のゆるカフェにて、「クジラ博士による出張授業」が行われました。今までに開催したことのない企画だったので、人があつまるかなあと、少々心配していましたが、クジラに興味津々の組合員の方々がたくさん集まってくれました。

クジラ博士は、守谷在住で、日本鯨類研究所の主任研究員である小西健志先生。普段海に出てクジラの生態調査をする傍ら、全国の学校を中心に講演会も行っているらしいです。今回は常総生協で、大人向けの授業を行ってくださいました。

授業ではやっぱり研究者の知識だなあと感じる説明が続出。「ナガスクジラは右あごだけ白い（本当に右だけ白くて、左は全身と同じ黒色なんです！）」、「吹いた潮の形でクジラの種類は判別できる」などなど。クジラの進化の説明では、一旦陸に上がった哺乳類が海に戻ったという証拠を伺いました。クジラにも手や指、足を支える骨盤の跡があるんです。ちなみにクジラに一番近い生物は「カバ」なのだそうです。

また、クジラの食べ物「オキアミ」だとよく聞きますよね。あんなに小さな生き物だけを食べて、よくあの体を維持できるなあと不思議に思ったことはありませんか？実はオキアミ以外にも、



群れているものならイワシでもサバでも何でも食べられるのだそうです。クジラの胃袋にたくさん魚が詰まっている写真には驚かされました。

今回は国際捕鯨委員会（以下 IWC）や反捕鯨活動についても、研究者の立場からのお話を伺うことができました。そもそも IWC という組織は、「クジラ資源を守りながら商業捕鯨をする」という目的があつて設立されたことや、1982年に可決採択された商業捕鯨のモラトリアムは期間10年だったのに、いまだに組織下での捕鯨が再開できていないことなどを説明していただきました。ちなみに日本が IWC を脱退してから行っている商業捕鯨でのクジラの捕獲量は、反捕鯨国が示す捕獲基準よりだいぶ少ないとのこと。クジラの生態を守りつつ、正しく命をいただくということはどういうことなのか、各々が考える良いきっかけとなりました。

そして講義後の昼食には、小西先生からいただいたクジラ肉で作った、竜田揚げとクジラ汁を堪能。脂っこくないし、臭みもなく美味！クジラは高たんぱく低脂肪、かつ疲労回復物質のバレニンが豊富だそう。これはまさに海のジビエですね！

この授業をきっかけに、クジラ肉を買ったよ、なんて方もいらっしやいました。クジラ肉大好き！という組合員さんもいらっしやるので、生協でも商品として取り扱われることを期待しましょう！（中山）

「常総生協が好きだー！」
ファンページ
ぜひ見てね♡



♪ 2019年度生協まつり 事前準備お手伝いのお願い ♪

今年もまもなく、11/2（土）に常総生協まつりが開催されます。しかし、毎年、この時期はてんやわんやの生協です（笑）。そこで、今年度も、事前準備期間を設けました。（右記参照→）お時間のある方、おしゃべりしたい方、一緒に準備しませんか？値段付け、看板作り、お菓子を入れる手作り手提げバック作りなど、ぜひ、皆様のご協力をお願いします。当日参加 OK です。

日程

10/28(月) 10時～12時
10/29(火) 10時～12時
10/30(水) 13時～15時
10/31(木) 10時～12時
11/1(金) 10時～16時

お申し込みは
こちらから↓



または生協本部
にお電話を！

「理事会よもやま通信」へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。